



# かけはし



第231号 平成29年(2017年) 2月1日(水曜日) 編集発行 宝塚市議会



皆さんはどれだけ  
名前がわかりますか?

【答えは16面】

写真提供:宝塚野鳥の会  
宝塚市自然保護協会

ことしの干支にちなみ、市内に生息する野鳥を集めてみました

## 12月定例会の概要

○平成27年度一般会計・特別会計 **決算** を認定

○ **手話** は一つの **言語** 手話言語条例を制定



# 平成27年度

# 一般会計 特別会計 決算を認定

## 決算審査のながれ

- 10月6日(9月定例会最終日) 市長から、決算議案が議会に提案される。
- 同日 決算特別委員会(以下「委員会」という)を設置し、委員長及び副委員長を互選する。会議の運営方法を確認するとともに、12月定例会までの閉会中の継続審査とすることを決定。
- 10月11日 審査に必要な資料を委員会で取りまとめ、市長に対して請求する。
- 10月24日 委員会を開催し、国民健康保険診療所と宝塚すみれ墓苑の現状を視察する。その後帰庁し、一般会計から審査を開始。(総務費等)
- 10月25日 委員会で引き続き、一般会計の審査を実施する。(民生費、衛生費等)
- 10月26日 委員会で引き続き、一般会計を審査する。(労働費、商工費、土木費等)
- 10月28日 委員会で、一般会計(教育費、歳入等)や特別会計の審査を実施する。
- 10月31日 委員会で、議案全般にわたる総括質疑を各委員が行い、委員会として各議案についての採決を行う。
- 11月11日 5日間の審査の状況をまとめた委員会報告書を作成し、委員会で確認の上、報告内容を決定する。
- 11月15日(12月定例会初日) 本会議において、決算特別委員会委員長から審査の概要及び結果を報告し、その結果を踏まえ、全議員で議会としての決定である議決を行う。

※審議結果は下記のとおり



北部西谷地域の医療の中心として  
地域住民の健康を守る国民健康保険診療所  
当日も患者さんが来られていました

## 質疑の一部を紹介します

(主に総括質疑から)

**問** 民生費の増大をどう抑えていくかが課題。高齢社会になっていく中で、住民の力を借りながら福祉サービスを担っていくという「新しい公共」の取り組みはあまり進んでいないのではないかと。

**答** 介護等は家族だけでは難しく、地域で支えるという観点が必要で重要。民生費を減らすという目的だけでなく、地域で支えるという観点から、協働の領域の拡大が必要であると認識している。すべての分野

**問** 基金が平成26年度より8億3千万円減少しているが、今後、市立病院の補助金、新ごみ処理施設建設、宝塚すみれ墓苑の健全化、土地開発公社の健全化等、多額の費用が必要である。借金を減らし、貯金を増やさないと市の経営は成り立たないのではないかと。

**答** 本市は8億円の黒字であるが、財政調整基金をとりくずしている。近隣他市ではそのようなことはない。基金を積んでいかなければならず、財政基盤の安定、将来負担の減少、負の遺産をなくすよう考えて

進めていく。無駄な事業を増やさず、市民との協働で取り組みたい。

**問** 今後は財源不足ということもあり厳しい状況である。一つ一つの事業の成果を見た上で必要な事業に投資すべきであり、不要な事業には投資できないとの議論も必要ではないか。市でできないのであれば事業仕分等をする必要もあると考えるが。

**答** 新たな事業が増える一方であり、事業の統廃合をしながら進めるべきと考えている。改善できる事業はあり、行革の視点で取り組みたい。選択と集中で限られた財源・もの・人に対して抑制する観点で施策を進めていくべきと思う。

**問** 民生費が毎年増大し、全体の46%を占めていることは問題。他市との違いは検証しているか。また、他市と比べて施策内容での違いはあるか。

**答** 本市の民生費の割合は高いが、他市でも民生費は比較的大きい。他市との比較としては、生活保護率が低い都市は、民生

**問** 財政見通しでは赤字が大きく膨れ上がっている。財政は健全だと言って大きな土地の購入や施設建設の決定をした後、実は財政状況が悪くなった理由は何ですか。

**答** 平成27年10月の財政見通しではNTN(株)宝塚製作所跡地と宝塚ガーデンフィールズ跡地の活用事業は投資的経費の中で実施できるとしていた。平成28年3月の財政見通しの時点で、国民健康保険事業の赤字解消、下水道事業・病院事業の課題を一般財源でカバーすることとなったため、財政状況が悪化したもの。

**問** 平成27年10月の財政見通しと平成28年3月の財政見通しが違いすぎ、議会としても判断に困る。どのように作成しているのか。また、行財政改革室を設置したことに対する市の意気込みは。

**答** 財政見通しは、毎年3月と10月に将来の5年間の見通しとして、その時点で最新のものを作成している。行財政改革室は行財政運営アクションプランの進捗を全庁的に管理するために設置したもので、しっかりと推進していきたい。

**問** 地方譲与税・交付金がこれからの5年間でトータル19億3千万円も増える財政見通しとなっているが、これだけ多く入ってくる根拠は。また、見込みどおり入ってこなかった場合はどうなるのか。

**答** この見通しは、内閣府の長期の財政状況の指標に基づき試算している。現時点

## 決算特別委員会



この12人の委員で議論しました  
左から中野 正、三宅浩二、北野聡子、大島淡紅子、山本敬子、◎梶川みさお、○岩佐将志、たけした正彦、細川知子、伊藤順一、みとみ稔之、田中こう

◆本会議での各議員の賛否(賛成=○、反対=×) ※議長は表決に加わりません。

| 会派名        | 公明党議員団 |     |      | 日本共産党宝塚市会議員団 |       |      | 自民党議員団 |       |      | 市民ネット宝塚 |       | 新風改革の会 |      | 維新の会・宝塚議員団 |      | ともに生きる市民の会 |      | 安全で誇れる宝塚をつくる会 |      |        |       |     |       |       |      |      |
|------------|--------|-----|------|--------------|-------|------|--------|-------|------|---------|-------|--------|------|------------|------|------------|------|---------------|------|--------|-------|-----|-------|-------|------|------|
| 議員名        | 江原和明   | 中野正 | 藤岡和枝 | 三宅浩二         | たぶち静子 | 田中こう | となき正勝  | みとみ稔之 | 山本敬子 | 伊福義治    | 大河内茂太 | 富川晃太郎  | 寺本早苗 | 石倉加代子      | 北野聡子 | 大川裕之       | 浅谷亜紀 | 伊藤順一          | 岩佐将志 | たけした正彦 | 若江まさし | 井上聖 | 大島淡紅子 | 梶川みさお | 北山照昭 | 細川知子 |
| 一般会計       | ○      | ○   | ○    | ○            | ○     | ○    | ○      | ○     | ○    | ○       | ○     | ○      | ○    | ○          | ○    | ○          | ○    | ○             | ○    | ○      | ○     | ○   | ○     | ○     | ○    | ○    |
| 国民健康保険事業費  | ○      | ○   | ○    | ○            | ×     | ×    | ×      | ×     | ○    | ○       | ○     | ○      | ○    | ○          | ○    | ○          | ○    | ○             | ○    | ○      | ○     | ○   | ○     | ○     | ○    | ○    |
| 介護保険事業費    | ○      | ○   | ○    | ○            | ×     | ×    | ×      | ×     | ○    | ○       | ○     | ○      | ○    | ○          | ○    | ○          | ○    | ○             | ○    | ○      | ○     | ○   | ○     | ○     | ○    | ○    |
| 後期高齢者医療事業費 | ○      | ○   | ○    | ○            | ×     | ×    | ×      | ×     | ○    | ○       | ○     | ○      | ○    | ○          | ○    | ○          | ○    | ○             | ○    | ○      | ○     | ○   | ○     | ○     | ○    | ○    |

その他の会計決算については、全員一致で認定しています。

## 各会計別決算概要

(単位:千円)

| 会計別         | 歳入決算額       | 歳出決算額       | 対前年度比率(歳出 単位:%) | 実質収支(※1)   | 単年度収支(※2) | 審議結果     |
|-------------|-------------|-------------|-----------------|------------|-----------|----------|
| 一般会計        | 74,476,232  | 73,453,627  | 102.26          | 593,231    | 294,509   | 認定(賛成多数) |
| 国民健康保険事業費   | 27,498,763  | 28,584,521  | 116.54          | △1,085,758 | 363,188   | 認定(賛成多数) |
| 国民健康保険診療施設費 | 115,981     | 115,981     | 105.79          | 0          | 0         | 認定(全員一致) |
| 農業共済事業費     | 68,747      | 60,696      | 102.03          | 8,051      | △450      | 認定(全員一致) |
| 介護保険事業費     | 17,501,150  | 17,073,371  | 105.24          | 427,779    | 247,070   | 認定(賛成多数) |
| 後期高齢者医療事業費  | 3,538,070   | 3,418,745   | 103.12          | 119,325    | 7,223     | 認定(賛成多数) |
| 財産区(9件)     | 116,597     | 81,978      | 115.31          | 34,619     | △4,197    | 認定(全員一致) |
| 宝塚すみれ墓苑事業費  | 298,777     | 81,864      | 166.31          | 216,913    | △8,826    | 認定(全員一致) |
| 計           | 123,614,317 | 122,870,783 | 105.75          | 314,160    | 898,517   |          |

※1 実質収支……歳入歳出の差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した額  
※2 単年度収支……当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額

# 12月定例会の議案審議から

12月定例会では、市長から提案された議案や、市民の皆さまから提出された請願など計61件について審議しました。

提出された議案は一部を除き、3つの常任委員会(総務・文教生活・産業建設)に付託し、慎重に審査しました。

ここでは、主な議案の審査概要と結果を報告します。

## 平成28年度宝塚市一般会計補正予算(第3号)

全員一致  
可決

**概要** 平成28年度の一般会計の歳入歳出予算の総額にそれぞれ22億4,248万5千円を増額し、補正後の歳入歳出予算の総額を809億988万9千円とするものです。

(歳出予算の主なもの)

増額…新庁舎・ひろば整備事業、手塚治虫記念館管理運営事業、くらんど人権文化センター整備事業、学校園(小中学校、幼稚園)施設整備事業

減額…執行額の確定等に伴う予算残額など

(歳入予算の主なもの)

増額…(国庫支出金)社会資本整備総合交付金、地方創生拠点整備交付金及び学校施設環境改善交付金

(県支出金)隣保館施設整備費補助金

(繰越金)前年度からの繰越金

(市債)新庁舎・ひろば整備事業債、手塚治虫記念館管理運営事業債、人権文化センター施設整備事業債及び学校園施設整備事業債

減額…(繰入金)財政調整基金とりくずし



手塚治虫記念館

**主な質疑** 手塚治虫記念館リニューアル計画のコンセプトや記念館をまちづくりに生かす考えについて、入館者数の推移や増加につながる取り組みについて、学校施設の空調設備更新について、校舎・体育館の雨漏り修繕について、小学校プール開放事業の責任の所在について、生活保護事業の増額理由について、固定資産税・都市計画税システムのバックアップの安全性確保について、新ごみ処理施設建設基金の積み立ての必要性についてなどの質疑がありました。



## 名誉市民条例の一部改正を可決 木接太夫坂上頼泰公の特別名誉市民認定に同意

**概要** 豊臣秀吉から木接太夫きつぎだゆうの称号を受けるなど、接ぎ木つぎきの術に優れ、園芸の発展に大きく寄与し、千年の歴史を誇る日本三大植木産地である山本地区の発展を揺るぎないものとした坂上頼泰公さかうえよりやすを「名誉市民」とするため、宝塚市名誉市民条例に基づき、議会に同意を求める議案が9月定例会で提出されました。

しかし、500年以上前の人物を名誉市民とすることに対し、議論がさまざまあり、9月定例会では結論が出ず、審査は継続され、12月定例会で、この議案は撤回されました。そして、新たな枠組みとして、歴史上の人物を「特別名誉市民」として顕彰けんしょうする規定を整備するため、宝塚市名誉市民条例の一部を改正する議案が提出されました。その議案が可決された後、改正後の同条例に基づき、坂上頼泰公を特別名誉市民とすることに同意を求める議案が提出されました。

**主な質疑** 9月定例会で提案された「名誉市民」とする議案については、名誉市民の基準の考え方、坂上頼泰公を顕彰することの意義やふさわしい顕彰のあり方、宝塚市発祥はっしょうの接ぎ木の技術の価値の伝え方についてなど、さまざまな議論があり、慎重な審査を必要とするため、継続して審査することになりました。

また、12月定例会で提案された、「特別名誉市民」の新たな枠組みを整備する宝塚市名誉市民条例の一部を改正する議案については、条例改正に関する文言の解釈や今後の運用についてなどの質疑がありました。また、「撤回された議案について、継続審査として時間をかけて審査したことは、地元にも精神的苦痛を与えたと思われる。行政の取り組みが不十分であったため、今後は十分に協議し、確実な議案を提案していただきたい」との賛成討論がありました。総務常任委員会では、全員一致で可決し、本会議では賛成多数での可決となりました。

また、坂上頼泰公を特別名誉市民とすることに同意を求める議案については、本会議において賛成多数で同意しました。

○本会議における議員の賛否(賛成=○、反対=×)

※議長は表決に加わりません。

| 会 派 名             | 公明党<br>議員団 |    |    |    | 日本共産党<br>宝塚市会議員団 |    |     | 自民党<br>議員団 |    |    | 市民ネット<br>宝塚 |    | 新風改革<br>の会 |     | 維新の会・<br>宝塚議員団 |    |    | とも<br>に<br>る<br>生<br>き<br>の<br>会 |    | 安全で<br>誇れる<br>宝塚を<br>つくる会 |    |    |    |    |    |    |   |
|-------------------|------------|----|----|----|------------------|----|-----|------------|----|----|-------------|----|------------|-----|----------------|----|----|----------------------------------|----|---------------------------|----|----|----|----|----|----|---|
| 議員名               | 江原         | 中野 | 藤岡 | 三宅 | たぶち              | 田中 | となき | みとみ        | 山本 | 伊福 | 大河内         | 富川 | 寺本         | 石倉  | 北野             | 大川 | 浅谷 | 伊藤                               | 岩佐 | たけした                      | 若江 | 井上 | 大島 | 梶川 | 北山 | 細川 |   |
| 名誉市民条例の一部改正       | ○          | ○  | ○  | ○  | ○                | ○  | ○   | ○          | ○  | ○  | ○           | ○  | ×          | ※議長 | ○              | ○  | ○  | ○                                | ○  | ○                         | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ |
| 坂上頼泰公を特別名誉市民とすること | ○          | ○  | ○  | ○  | ○                | ○  | ○   | ○          | ○  | ○  | ○           | ○  | ×          | ※議長 | ○              | ○  | ○  | ○                                | ○  | ○                         | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ |

## 宝塚市手話言語条例を制定

全員一致  
可決

**概要** 手話は音声言語である日本語とは異なる独自の体系を持つ言語であるとの認識に基づき、本市において、手話への理解の促進及び手話の普及を図り、手話を利用しやすい環境づくりを推進することにより、全ての市民が相互に人格と個性を尊重し、心豊かに共に生きる地域社会を実現することを目的として、条例を制定しようとするものです。

**主な質疑** 論点を「条例制定後の具体的施策について」とし、条文の「インクルーシブな地域社会の実現」という表現、手話を使える人の人数についての数値目標の設定、小・中学校における手話教育、手話講座の取り組み、職員向けの手話研修、市民への周知や促進など、今後の具体的な取り組みについて、質疑がありました。

## 宝塚市障害者差別解消に関する条例を制定

全員一致  
可決

**概要** 本市において、障がいを理由とする差別の解消に関して基本理念を定め、市、市民及び事業者の責務を明らかにするとともに、障がいを理由とする差別を解消するための施策を定めることにより、障がいを理由とする差別の解消を推進し、障がいがある人の人権を尊重し、障がいの有無に関わらず、住みよい地域社会を実現することを目的として、条例を制定しようとするものです。

(条例の主な内容)

- ・ 不当な差別的取り扱いや、合理的配慮の不提供といった障がいを理由とする差別の禁止
- ・ 差別解消に向けた普及啓発の取り組みの規定
- ・ 差別事案に関する申し立てに対して助言又はあっせんを行うための附属機関(宝塚市障害を理由とする差別の解消に関する調整委員会)の設置



**主な質疑** 2つの論点から質疑が行われました。論点1「条文について」では、障害者差別解消法との違い、障がいを理由とする差別に関する相談、条例の中でのルビ(ふりがな)の必要性、紛争解決の仕組みなどについて、論点2「条例制定後の具体的施策について」では、障がいへの偏見を取り除くことが難しい中での心情的な部分への取り組み、学校園での障がいのある子どもの受け入れの配慮などについて、質疑がありました。

## 勤労市民センター条例を廃止する等の条例 及び 末広駐車場条例の一部を改正する条例の制定

**概要** (勤労市民センター条例の廃止等) (仮称) 中央公民館第2期工事の準備作業を平成29年10月から開始するに伴い、同年9月末をもって勤労市民センターを廃止し、また、同年10月以後における末広駐車場単独での指定管理者を選定するに当たって必要な手続を定めるため、宝塚市立勤労市民センター条例を廃止し、また宝塚市指定管理者選定委員会条例の一部を改正しようとするものです。

(末広駐車場条例の改正) 平成29年10月以後の末広駐車場単独の指定管理者を選定することに併せて、駐車場料金については、従来採用していた利用料金制から直接市の収入とする使用料制に変更するため、条例の一部を改正しようとするものです。

**主な質疑** 勤労市民センター条例の廃止等については、勤労福祉を掲げた施設がなくなる影響や目的施設のあり方などについて、末広駐車場条例の改正については、工事期間中は駐車場収容台数が減ることに対する応急対策などについて質疑が行われました。また、委員会では、2人の委員から市の労働者施策に懸念を示すも賛成の立場で討論がありました。

## 新たな農業委員会制度始まる

### 農業委員会の選挙による委員の定数条例の全部改正

**概要** 農業委員会等に関する法律が改正されたことに伴い、農業委員の選出方法が公選制から議会の同意を得る市長の任命制に変更になるとともに、農地利用の最適化に取り組む体制を強化するため、新たに農地利用最適化推進委員が設けられ、それぞれの委員の定数を条例で定めるため、条例の全部を改正しようとするものです。

併せて、新設の農地利用最適化推進委員の報酬を定めるため、宝塚市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正しようとするものです。

**主な質疑** 「定数の妥当性について」を論点とし、法改正による農業委員会への影響、農業委員の定数の過半数を21人しかいない認定農業者から選出しなければならない問題、中立委員として学識者や弁護士等の中から農業に詳しい者を農業委員に任命する難しさ、農地利用最適化推進委員の選出方法、選考委員会の体制などについて質疑が行われました。また、委員会では、2人の委員から厳しい現状にある本市の農業の発展に向けて賛成の立場で討論がありました。

## 特別委員会を設置

|        |   |
|--------|---|
| 委員会名   | 行財政改革調査特別委員会  |
| 委員会の任務 | ◇第2次宝塚市行財政運営アクションプランに関すること<br>◇財政見通しに関すること                            |
| 定数     | 8人  |
| 委員     | ◎大川 裕之 ○北山 照昭<br>伊福 義治 岩佐 将志<br>◎委員長 江原 和明 梶川みさお<br>○副委員長 寺本 早苗 となき正勝 |
| 設置日    | 平成28年12月20日   |
| 設置期間   | 任務の調査が終了するまで  |

## 請願

12月定例会では、次の請願が提出されました。文教生活常任委員会で慎重審査のうえ、本会議で採択しました。請願の概要は次のとおりです。

「子ども達を守る喫煙防止・薬物乱用撲滅教育を進める」請願 (概要)

薬物乱用防止教育を全市立中学校で年一回は開催するとともに、実情に応じ小学校でも開催に努めることを求める。

また、喫煙防止教育を全市立小・中学校で実施することを求める。

(採択・賛成多数)

### ◆本会議での各議員の賛否(賛成=○、反対=×)

|    |    |    |    |     |    |     |     |    |    |     |    |    |     |    |    |    |    |    |      |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|-----|----|-----|-----|----|----|-----|----|----|-----|----|----|----|----|----|------|----|----|----|----|----|----|
| 江原 | 中野 | 藤岡 | 三宅 | たぶち | 田中 | となき | みとみ | 山本 | 伊福 | 大河内 | 富川 | 寺本 | 石倉  | 北野 | 大川 | 浅谷 | 伊藤 | 岩佐 | たけした | 若江 | 井上 | 大島 | 梶川 | 北山 | 細川 |
| ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○   | ○   | ×  | ×  | ×   | ×  | ○  | ※議長 | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |

※議長は表決に加わりません。

## 意見書

12月定例会では、2件の意見書案が提出され、いずれも全員一致で可決し、関係機関へ送付しました。

ホームドアの設置と「内方線付き点状ブロック」の整備促進を求める意見書

ハード、ソフト両面における総合的な転落事故防止対策の検討を急ぎ、駅ホームのさらなる安全性向上に向け、ホームドア設置促進等に取り組むことを国に求める。

提出先 内閣総理大臣、国土交通大臣

地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書

被災者支援システムの全自治体への完備・普及、学区単位での自主防災コミュニティの組織化や訓練の実施等地域防災力の向上を図ること等を国に求める。

提出先 内閣総理大臣、総務大臣、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣(防災)



## その他の賛否が全員一致した議案等

青字は議員提出議案です。

|   |     |
|---|-----|
| 平成28年度宝塚市特別会計国民健康保険事業費補正予算(第4号)                 | 可 決 |
| 平成28年度宝塚市特別会計介護保険事業費補正予算(第3号)                   |     |
| 平成28年度宝塚市特別会計後期高齢者医療事業費補正予算(第2号)                |     |
| 平成28年度宝塚市特別会計宝塚すみれ墓苑事業費補正予算(第2号)                |     |
| 平成28年度宝塚市病院事業会計補正予算(第1号)                        |     |
| 宝塚市市税条例の一部を改正する条例の制定について                        |     |
| 執行機関の附属機関設置に関する条例及び宝塚市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について |     |
| 宝塚市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について                      |     |
| 宝塚市債権管理条例の一部を改正する条例の制定について                      |     |
| 宝塚市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について                   |     |
| 宝塚市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について                      |     |
| 権利の放棄について(2件)                                   |     |
| 公の施設(宝塚市立勤労市民センター及び宝塚市立末広駐車場)の指定管理者の指定について      |     |
| 損害賠償の額の決定について                                   |     |
| 市道路線の認定について(4件)                                 |     |
| 市道路線の認定変更について                                   |     |
| 平成28年度宝塚市一般会計補正予算(第4号)                          |     |
| 平成28年度宝塚市特別会計国民健康保険事業費補正予算(第5号)                 |     |
| 平成28年度宝塚市特別会計国民健康保険診療施設費補正予算(第2号)               |     |
| 平成28年度宝塚市特別会計農業共済事業費補正予算(第2号)                   |     |
| 平成28年度宝塚市特別会計介護保険事業費補正予算(第4号)                   |     |
| 平成28年度宝塚市特別会計後期高齢者医療事業費補正予算(第3号)                |     |
| 平成28年度宝塚市特別会計宝塚すみれ墓苑事業費補正予算(第3号)                |     |
| 宝塚市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について             |     |
| 宝塚市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について             |     |
| 宝塚市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について      |     |
| 議員の派遣について                                       |     |

### その他結果

「宝塚市立長尾中学校体育館建て替え基本計画の見直しについての陳情」は、文教生活常任委員会で審査し、結論を得ずとなりました。



まち自慢はモテない男と同じ

新風改革の会 大川 裕之

【シティプロモーション戦略】

問 戦略で宝塚市を好きになる人、定住人口、交流人口、関係人口の増加を目標としているが、数値目標の設定はない。どうやって成果を検証するのか。

答 戦略では本市の魅力を外内外に発信する部分に加え、市の魅力そのものを高めることまで含めてプロモーションと定義している。意見 恋愛でも自慢しすぎる男性はモテない。宝塚市の良いところ自慢ではなく、顧客の立場から物事を考えるセンスを。

出資する公益財団法人がスポーツセンターやベガ・ホール等の指定管理者になっているが、施設そのものを寄附し、自由度や独自性を高めることでスポーツや文化芸術の振興に努めては。答 自由な料金設定や柔軟な利用等が期待できるが、収益性の高い事業の増加や市民の利用機会の減少、料金値上げの恐れがある。また、施設改修費や固定資産税等の新たな負担で全体収支はマイナスが予想される。意見 サービス向上への選択肢の一つとして検討を。

【民間のノウハウ活用】

問 公共施設の総量縮減は困難な課題。学校単位に屋外プールを設置せず、プール授業を民間委託する自治体もある。市の見解は。答 他市ではプールを撤去して学校水泳指導をスイミングスクールへ業務委託したり、小・中学校共同利用方式の実施例もあり、費用削減効果があると考える。意見 学習指導要領に水泳授業の時間数の明記はな

【蔵人共同浴場ほっこり湯】

耐震工事がされていないが。答 今年度、木造部耐震改修予定だったが、実施設計で当初予算を大幅に超過。工期も約5カ月必要なため、検討会を立ち上げ対応策を考え、再度案を提示したい。【都市計画道路競馬場高丸線及び山手幹線】



公共施設縮減に民間活力を

公明党議員団 江原 和明

問 公共施設の総量縮減は困難な課題。学校単位に屋外プールを設置せず、プール授業を民間委託する自治体もある。市の見解は。答 他市ではプールを撤去して学校水泳指導をスイミングスクールへ業務委託したり、小・中学校共同利用方式の実施例もあり、費用削減効果があると考える。意見 学習指導要領に水泳授業の時間数の明記はな

短く屋外プールは使用期間も短い。民間活用の検討を。【公園遊具の安全性確保】

問 遊具の年代別設置や、利用年齢の表示をすること

で、一日も早く環境整備を。答 その必要性は認識しており、定期点検の際に表示対応したり、各地域のニーズを踏まえ検討していく。



オーラル・フレイル予防を

ともに生きる市民の会 大島淡紅子

【医科歯科連携の充実】

問 早期から口腔管理を重要視することで、オーラル・フレイル（歯・口の機能の虚弱）が予防可能。健康寿命を延ばす医科歯科連携が非常に重要で、がん連携でもメリットがある。本市にもがん連携登録歯科医がいるが、連携の考えは。答 がん診療連携登録歯科医との連携を明確にするのは大きな課題。歯科医師

会にも情報もらいながら、考えを整理したい。問 子どもの口腔崩壊の半数以上は、貧困が原因であった。本市の子どもの貧困に関する生活実態調査の中に、口腔保健に関する調査を含むべきではないか。答 現在、プロポーザルで業者を募集中。業者決定後、関係部署等で質問項目を整理していく中で、口腔治療についても検討したい。

【里親制度への期待】

問 里親でも学童保育やファミリースポーツセンターは利用できるのか。答 現在事例はないが、両方とも利用可能。問 短期里親、週末里親、季節里親などの制度もある。独身やひとり親、同性カップルも里親になれる。本市で同性カップルの実例は。答 本市に事例はない。意見 養育里親との愛着関係が、安心感や自己肯定感につながる。委託率向上には民間支援団体の力が重要。向上のための努力を。

策定するようにはできないか。答 行政ができない部分を地域で担うという意味での計画づくりを求めている。難しいものは求めている。【県営宝塚山本鉄筋住宅の建てかえによる影響】

問 建てかえに伴い家賃が値上げされ、住民が住み続けられないという、公営住宅の目的とは異なる事態となる。せめて、現在認め

ていない、県営住宅入居者の市営住宅応募を認める特別措置はとれないか。答 県とも協議し、ルールの改定を検討したい。



まずは地区防災計画策定を

公明党議員団 三宅 浩二

【空地・空家の適正管理】

問 空地・空家に関して、どのような苦情があるか。答 空地では除草、空家では植木関係が主な相談。問 シルバー人材センターとの協定の趣旨は。答 空地・空家の適正管理と高齢者の就業機会拡大のため、所有者からの管理業務の相談に対し、シルバー人材センターを紹介することから、地区防災計画を

策定するようにはできないか。答 行政ができない部分を地域で担うという意味での計画づくりを求めている。難しいものは求めている。【県営宝塚山本鉄筋住宅の建てかえによる影響】

問 建てかえに伴い家賃が値上げされ、住民が住み続けられないという、公営住宅の目的とは異なる事態となる。せめて、現在認め

ていない、県営住宅入居者の市営住宅応募を認める特別措置はとれないか。答 県とも協議し、ルールの改定を検討したい。





電子黒板の導入を積極的に  
維新の会・宝塚議員団 若江まさし

【学校授業のICT化】

問 市内小・中学校における電子黒板の整備状況は。  
答 平成27年度に小学校は1台から3台、中学校は1、2台を整備し、教員向け操作研修をあわせて実施。  
意見 台数が少ないので、平成32年の教育改革に向け、タブレットの普及も含め、積極的な導入が必要。  
【長尾小前交差点の渋滞】  
問 平日朝の渋滞が深刻

良案を作成し、地元自治会等と十分な協議を行う。

【鳥獣被害対策】

問 生息数の個体数管理について、市の取り組みは。  
答 イノシシやニホンジカは県が実施しているが、外来種のアライグマ等は完全排除が基本のため実施していない。捕獲業務は、市が引き続き猟友会に委託して個体数の減少を図る。  
意見 住民に危険だった病原菌を持つていたりするのはアライグマも同じ。外来種も県や近隣市と連携し個体数管理をすべきでは。

障害者の意思決定支援

ともに生きる市民の会 井上 聖

【成年後見制度の利用促進】

問 法の基本方針にある本人の意思決定の尊重に、ピア・カウンセリングの利用の促進が必要と考えるが。  
答 意思表明の一つと考える。引き続き活用する。  
問 成年後見制度の適切な利用促進のための意思決定支援ガイドライン案に、ピア・カウンセリングについて示されているが。  
答 相談支援事業所、サ

成について、今後の予定は。  
答 全市的、市域を超えた広域的なアイデアでの養成を考えている。すみれ園の医師、訓練士を講師とする研修も検討していきたい。  
問 福祉、医療、保健、教育等の連携について、協同する総合的な支援体制の構築が求められている。協議の場の設定は。  
答 国の通知で、継続的な意見交換や情報共有を図る協議の場が必要で、地域の実情に応じ開催することとされている。あり方について県とも連携し検討する。



未来に対し責任ある予算を  
安全で誇れる宝塚をつくる会 北山 照昭

【大義のない競馬場高丸線】

問 都市計画審議会において、安全性や交差点の詳細等が不明で判断しがたいとの議論の中、採決した新たな都市計画決定に対し、住民の懸念事項については十分対応し、払しょくするよう、会長から意見が付された。どう対応するか。  
答 意見を踏まえ、より丁寧な説明を行い、理解が得られるよう努める。

【有識者会議のいじめ防止提言案】

問 案に対する認識は。  
答 教職員にはいじめの情報や学校の対策組織に報告、共有する義務があることが改めて強調されている。児童・生徒が安心・安全に学べるよう教育委員会と学校が連携し、取り組む。  
【中筋山手3丁目等の開発】  
問 隣接する現場で湧水を確認。この開発予定地で



市民協働・公民連携施策を  
新風改革の会 伊藤 順一

【宝塚市のインフラ】

問 平成20年度末現在5200億円あった本市の公共資産が、平成27年度末現在では4850億円と、価値が350億円も減少しているが、その要因は。  
答 普通会計で約170億円、公営企業等で約180億円の減となっている。最も大きな金額を占めているのが、道路、橋梁等を含む生活インフラ、国土保全

経済活性化により市民の所得を向上させる政策や、公共資産を活用する政策が必要。  
【市民協働・公民連携】  
問 事務事業に対する住民、NPO、企業等の提案制度導入への進捗状況は。  
答 制度導入については、メリット、デメリットを踏まえるとともに、事務事業をよりわかりやすくするための整理が必要であり、引き続き検討を進める。  
意見 もっと積極的に進めていかないと、これだけの財政需要は、職員の努力だけでは収まりきれない。



日本共産党  
宝塚市議員団

田中 こう

## 公文書管理条例の検討を

【市民のいのちとくらしを守るために】

問 住まいの貧困問題が若者を中心に表面化。家賃を補助する施策が必要では。答 住宅確保要配慮者への支援は、憲法25条の生存権を保障する重要なもの。公営住宅の供給だけでなく、民間賃貸住宅を含め活用することが必要であり、住宅家賃補助制度は、全国的事例も調査し、研究する。

問 障害福祉サービスを受ける障がい者が、65歳を期に、同内容の介護保険サービスが優先適用され、無料から1割負担になる。応益負担の考え方を持ち込んだことは問題である。裁判を通じ、国、障がい者団体、弁護団の3者が改善等に向けた基本合意を結んだが、実現されていない。市は負担軽減策を検討すべきでは。答 障害者総合支援法が

改正され、所得や障がいの程度等を勘案した介護保険サービス負担軽減の仕組みを平成30年4月から設けるとされているが、詳細は未定。国の動向を注視する。

### 【公文書管理条例】

問 公文書管理法公布から7年が経過。法理念に立ち返り、条例制定の検討を。答 本市では規則で公文書の適正な管理を図ってきた。公文書は市民の財産であり、法の趣旨に沿って適正管理を行い、市民への説明責任を果たすため、他市を参考に条例化を検討する。



市民ネット宝塚  
寺本 早苗

## 避難者へ寄り添った支援を

【原発避難者への支援】

問 避難指示区域外からの避難者を対象とした公営住宅の無償提供が平成29年3月末で打ち切られるが、放射線の不安等から帰還に慎重な避難者は多い。市として自主避難者への住宅支援を継続すべきと考えるが。答 本市への避難者は19世帯59人。福島県からの原発事故避難者は8世帯30人で、2世帯5人が市営住宅

へ入居。継続して入居できるように検討中。

問 全国で福島県からの避難生徒へのいじめが発生。避難児童・生徒が安心して学べる環境づくりは。答 担任等による日常の観察や面談を行っている。必要に応じてスクールカウンセラーや関係機関との連携体制をとっている。

### 【顕彰制度のあり方】

問 顕彰する意義とは。

答 偉人の功績や生き方を語り継ぐことで郷土への誇りと愛着を深め、未来を切り開く原動力につながる。

問 9月定例会で木接太夫の坂上頼泰公を名誉市民にする条例が提案された。頼泰公は市民ではなく、県レベルで顕彰すべき郷土の偉人というスケールでは。答 大きく顕彰されることは市も非常にありがたい。意見 他にも阿部元太郎氏や元永定正氏など、顕彰すべき人がいる。タイムイングを逃さず検討を。



日本共産党  
宝塚市議員団

みとみ稔之

## 環境重視の公共施設設計を

【エイジフレンドリーシテイ】

問 今回示された行動計画のキャッチフレーズが「お互いさまがふれるまち・宝塚」になった経緯は。答 検討会で、高齢者を初め多くの市民がいきいきと過ごすためには、お互いに支えあうことが大切であるとの議論から決定した。

問 今回事された行動計画の公共交通であり、今後、市のパイプ役として、また新たな施策のアイデアを出す役割に特化しながら関わっていききたいと考えている。

府の対応をどう捉えるか。答 唯一の被爆国として残念。核兵器廃絶と永久の平和は人類の願い。改めて命の尊さや平和の大切さを認識し、後世へ伝えられるよう平和施策に取り組む。

### 【地球温暖化対策】

問 環境性能を重視した公共施設の設計を考えるべきでは。答 再生可能エネルギーを導入した公共施設の設計ガイドラインができないか。審議会に諮問中。また、既に設計が進む施設にも導入を提案し一部実現している。

### 【核兵器のない平和な世界】

問 平成28年10月の国連総会で、核兵器を違法化する核兵器禁止条約の制定に向けた決議案に反対した政



自民党議員団  
富川晃太郎

## 地域完結型の医療体制を

【県立病院の設置要望】

問 平成29年度予算編成に係る県政要望書に、阪神北圏域での県立病院の設置要望がある。背景にある兵庫県地域医療構想の概要は。答 同構想は地域での医療提供体制の構築を目的に、平成28年10月に策定。その中で、阪神北圏域内完結率は71・8%と県内最低で、3次救急を担う医療施設がない等、高度医療の提供体

制が課題と指摘されていた。問 阪神北圏域の現状と課題は。答 高度急性期医療、回復期医療の不足や公立病院の建物の老朽化、在宅みとり率の低さが指摘されている。これらの解決が課題。

問 精査されない部分で目標値が曖昧、数値達成後も赤字が解消しない等の例があった。今後、年度途中はどう進捗管理するのか。答 取組状況について、担当課と日ごろから進捗を確認し、年度途中でも全体の進捗状況を把握しながら庁内連携し取り組んでいる。年度途中での評価や公表の仕方は今後考えていきたい。

問 阪神北圏域の一員として、本市は他自治体と協議や調整はしているのか。答 将来にわたって地域完結型の医療体制の確立は



### 都市公園を防災拠点に

自民党議員団 山本 敬子

【エイジフレンドリーサイトの取り組み】

問 エイジフレンドリーサイトに参加する意義は。

答 高齢になっても地域で活躍の場や機会があり、あらゆる人とつながり、生き生きと暮らせるまちづくりを目指している。

【高齢者の介護】

問 平成29年4月に介護保険法が改正される。介護をする側とされる側の双方

に実態調査が必要と思うが、介護サービス事業者には調査を実施していないが、一般高齢者等を対象に調査を実施している。



### 新ごみ処理施設は広域で

公明党議員団 中野 正

【都市農業振興】

問 本市南部の都市農業者が、農業をやめる原因は。

答 相続税の問題が大きく、農地を手放さないと納税できないと聞いている。

問 今、税制も含めて大きく変わろうとしている。都市農業の応援を。

答 国や県での都市農業振興に向けての税制や土地利用に関する施策にあわせ、制度設計を前向きに検討し

たい。

【新ごみ処理施設整備】

問 ごみ処理の広域化を断念した理由は。

答 広域化のメリットや必要性は理解しており、近隣市に直接打診してきたが、了解が得られず、時間的な制約からも単独で判断。

意見 近隣市が他市と広域化を検討すると新聞に掲載された、気が付けば、宝塚市だけが単独でしている

ということがないよう、広域化のチャンスがあれば取り組んでいくことが必要だ。

【手話言語条例の課題】

問 視覚障がい者への避難所での対応は。

答 掲示板や安心メールを活用するとともに、手話通訳者の避難所への配置などに努める。



### 人事給与制度の構造改革を

自民党議員団 大河内茂太

【人事評価のあり方】

問 係長級以下職員の評価の処遇への反映状況は。

答 現在未反映。職員労働組合との協議を進めたい。

問 昇格希望率が低い。係長級の昇格選考の状況は。

答 昇格希望者が本当に少なく危惧している状況。

意見 希望者を増やすには強いインセンティブが必要。昇格しなくても給与が上がり続ける現行制度を廃

止して、職級と処遇の関係を明確にする必要がある。

【市職員定数の適正化】

問 人件費抑制のため取り組んできた定員削減を180度変更して増員に舵を切ったが、人件費予測は。

答 人件費に大幅な影響が生じないよう財政状況にも配慮しながら取り組む。

意見 12年前の定員に5年間で戻す計画で拙速。今後人口が減少することに触

また、主体的、対話的で深い学びの実現を目指すため、学習形態を工夫するポイントも解説している。

問 アクティブ・ラーニングの視点として、乗り越えるべき課題は。

答 子どもたちが成長して、困難な課題に出会ったときに、他者と協働して課題解決ができる「生きる力」を一人でも多くの子どもが身につけていくというような課題を持っている。

意見 心の安定、安心できる教育環境こそが学力向上の鍵。



### 生きる力をつける教育を

市民ネット宝塚 北野 聡子

【進路選択支援事業】

問 福祉施策における、奨学金活用、進学・進学後の相談、学習機会の情報提供など、総合的な進路選択支援事業の推進を求めているが。

答 生活困窮者自立支援制度の一つである学習支援事業を実施している。貧困の連鎖を防止する観点から、高校進学に焦点を当て、中学生への支援を行っている。今後は、高校中退防止の取

り組みと併せ、充実・強化を図っていく。

【学力向上の取り組み】

問 次期学習指導要領から導入される、主体的・協働的に学ぶ学習「アクティブ・ラーニング」の素地をつくるための教育改革は。

答 全教職員に配付している資料では、授業改善の方法の一つとして、目当て、見直し、振り返りを重視した取り組みを推奨している。



## 子どもの元気な声をまちに ともに生きる市民の会 梶川みさお

### 【駐輪場の高齢者雇用】

問 平成29年4月から指定管理者がシルバー人材センターから民間のサイカパーキング(株)に変わる。従事する高齢者の雇用確保策は。

答 サイカパーキング(株)は、現従事者の継続雇用を前提に、やる気のある高齢者は定年の70歳を超えても雇用することを提案。本市も提案の実行を強く求める。意見 継続を希望する方

### 【市立幼稚園存続に向けて】

問 市立幼稚園はコミュニティの推進上大切だが、園の統廃合が進行。園児数減を食い止めるため、3年保育を早期実現すべきでは。

答 適正規模・適正配置の取り組みとあわせ、私立幼稚園との調整や課題を整理しながらできる限り速やかな実施に努めている。

### 【子育て支援】

問 今年の夏も猛暑日が続いたが、市立幼稚園の保育室にはエアコンがない。子どもたちの健康と教育に支障があるが、設置計画は。

答 まずは実施設計に着手できるように努力する。

問 本市の幼稚園教諭の臨時職員は西宮市より年収が110万円低い。このままでは本市に来ずに西宮市に行ってしまう。今すぐ賃金を引き上げるべき。

答 検討は進めたい。

意見 まちの活性化には子どもの元気な姿が欠かせない。市立幼稚園は存続を。



## 自主防災組織の活性化を 安全で誇れる宝塚をつくる会 細川 知子

### 【要援護者避難支援制度】

問 制度開始から2年経過したが、本市の名簿管理システム導入の進捗状況は。

答 先進事例を参考に研究中だが、導入には至らず。

意見 システムが整うまでは、妊産婦や高齢者は支援対象外。地区防災計画の策定主体に積極的に働きかける等、早急に支援体制を。

【自主防災組織の活性化】

問 自治会加入率は6割

### 【まちづくり協議会】

問 協働のまちづくり促進委員会を取りまじめ中の運営ガイドラインとは。

答 民主的運営のためのチェックシートのようなもの。まちづくり協議会の意見を聞き、取りまじめたい。

問 各まちづくり協議会によって状態が違う。市民はどの程度認識しているか。

答 約17年間の活動実績があるが、一般の方には周知が不十分である。

意見 各コミュニティの歴史や熟成のばらつきを把握し方向性を出してほしい。



## 子ども市報の発行を 新風改革の会 浅谷 亜紀

### 【主権者教育の充実】

問 日常生活での身近な主権者教育として、広報たからづかの子ども版、「子ども市報」を発行しては。

答 子ども向けホームページ「たからづかKIDS」の充実を含め、他市の事例も踏まえ調査研究する。

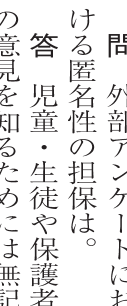
【乳幼児健診時の一時保育】

問 下の子の健診時に上の子が走りまわって話ができないなどの声を聞く。一

### 【学校評価の充実】

問 学校評価の目的は。

答 子どもたちがよりよい教育を受けることができるよう、教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すこと。また、結果について説明責任を果たすことも大きな目的。



## 民間人材活用で課題解決を 公明党議員団 藤岡 和枝

### 【持続可能な開かれた自治体であるために】

問 市の課題解決のために、民間人材の視点を入れることで効果がある分野は。

答 広報や市の魅力発信の分野で提案があったが、今後、検討していきたい。

問 民間企業が自らの負担でリーダー人材を自治体に研修派遣し、協働で課題解決を行うコーポレートフェローシップ制度などの方

### 【子ども読書活動の推進】

問 読み聞かせ黄金期の3歳児健診時に、絵本を選んで贈呈するセカンドブックを導入しては。

答 他市の取り組みを十分検討し、進めていきたい。

問 お金を貯めるように、

### 【幼児教育センター】

問 役割として家庭教育支援の項目もあり、センター機能が整備されることを評価する。本年度開設することに対しての意気込みは。

答 幼児教育センターの設置により、より一層幼児期からの教育に力を入れて、未来を担う健全な子どもの育成を目指していきたい。

### 【費用のかかる形式で】

問 読んだ本を子どもが楽しんで書き込んでいく「読書通帳」を導入する考えは。

答 費用のかかる形式でなく、工夫し効果のある取り組みを今後研究していく。



維新の会・宝塚議員団

たけした正彦

### 労務実態の洗い出しを

#### 【職員労務と事業数】

問 国も平成21年に課長補佐への管理職手当の支給を廃止。尼崎市も同様だが、本市は係長級へ管理職手当を支給し、また1カ月上限20時間で時間外手当も加給。係長級に管理職としての役割があるのか。時間外手当も併給と言えるのでは。

答 一般職とは職責に差異があると認識しているが、給与適正化のため手当廃止

と、上限のある時間外手当の時間数見直しに取り組み。問 時間外勤務の実態は本当に把握しているか。申告以上の残業もあるのでは。

答 残業が多い認識はあり、所属長が状況を的確に把握し、ノー残業デーやヒアリングを実施して、職員の健康保持等にも取り組む。

問 事業数に対する現状の勤務時間の洗い出しが、今後の適正化計画や事業数

の見直しの元になるのでは。答 時間外勤務については、所属長が業務の進捗状況を把握し、職員一人一人が業務の効率化を図りながら、日々見直していききたい。

問 業務の見直しの手法として、国や民間との人事交流は職員の能力向上につながり効果も出る。本市は阪神間で一番人事交流がなく、もつと力を入れるべき。

答 人事交流がもたらす効果や実施方法の先進自治体の事例を研究し、国や民間事業者も含めた人事交流のあり方を検討していく。



日本共産党 宝塚市会議員団

となき正勝

### 公民館で政治的な教養を

#### 【公民館のあり方】

問 政治への市民参加を促進する観点で、公民館の政党等の利用を見直すべき。社会教育法の解釈はどうか。

答 政党または政治家に公民館の貸し出しを一律に禁止するものではないと認識しているが、政党や政治家の範囲、政治的活動の捉え方や公平性確保等の課題があり、運用上、利用を認めていない。

問 利用を認めている自治体では利用基準を細かく示している。本市も明確な基準をつくるべきと思うが。

答 他市の基準等を調査し、公民館運営審議会での意見を踏まえた上、本市の基準を定めていきたい。

【労働者施策の充実】

問 現在策定中の宝塚市労働施策推進計画には労働環境の改善・向上施策は相談と啓発のみ。実効性の

ある施策がないと思うが。答 市には労働条件を守っていく監督的権限がない。国や県と連携して進めたい。

問 市ができる実効性のある措置の一つに労働組合の積極的な活用がある。労働条件向上につながるの労働組合しかないと思うが。

答 労働組合は労働者福祉の向上に寄与すると認識。

問 同計画案には労働組合の記載がない。意義や位置づけを明記すべきでは。

答 今後、議会やパブリック・コメント等での意見を再度審議会に協議したい。



維新の会・宝塚議員団

岩佐 将志

### 赤字にならない市政を

#### 【宝塚市の行財政改革】

問 平成27年度までの第1次行財政運営アクションプランで目標の95%を達成したのに、なぜ平成28年度から財政が赤字化するのか。

答 市立病院への長期貸付や国民健康保険の累積赤字の対応を、平成28年度当初予算の策定段階で方針決定したため赤字化となった。

問 第2次のプランは、目標達成しても赤字化した

前回の二の舞にならないか。答 年2回財政見直しを立てる中、適宜財政需要を見込み適切な運営に努める。

問 今後5年間で64億円もの効果額を見込んでいるが、なぜ最初に全職員の人件費カットから始めるのか。

答 財源不足で市民負担もあるため、身を切る改革として人件費削減を行った。

問 福祉部門など職員不足の部署や逆に職員数を絞

れる部署はどこか、全市で課題を共有できているか。答 人員の適正化、適材適所などを各部と総務部、市全体で協議を進めている。

意見 「住民満足と職員満足の同時達成」こそが改革の原動力になる。職員のモチベーションアップ、国策に準じた交付金の獲得、全職員の市財政状況の理解共有が行革に不可欠である。

【民生費の増加への対応】

問 増加の一方、対応は。答 生活保護費の不正受給防止や介護報酬の請求点検等、適正化に努めていく。



日本共産党 宝塚市会議員団

たぶち静子

### 医療難民を生まないために

#### 【地域医療構想と市立病院】

問 地域医療構想とは、2025年に向けて医療費抑制のため病床数を削減し、安価な在宅医療へと慢性期患者を誘導する仕組み。必要な医療を安心して受けられる体制こそ必要と考えるが、市立病院への影響は。

答 市立病院は地域医療支援病院として急性期医療を継続して担うとともに、一部の病棟を高度急性期の

病床機能とするなどしており、現状の医療提供体制に大きな影響はないと考える。

問 今後も現在の7対1の看護体制は維持するのか。

答 看護師の確保に努め、現看護体制は堅持したい。

【武田尾駅周辺の整備】

問 福知山線廃線敷の一般開放に伴い、武田尾駅周辺で不法駐車やトイレでの大混雑が発生している。早急な対策が必要と考えるが。

答 不法駐車については、宝塚警察署による巡視のほか、駅前駐車場の空き区画を解放するとともに駐車禁止看板の設置により解消された。トイレについては、当面は仮設トイレで対応し、僧川の改修工事完了後に設置できるよう検討する。

【宝塚自然の家】

問 再オープンに向けた進捗状況と今後の予定は。

答 現在、庁内で整備計画の検討を進めており、今後、基本構想や同計画についてパブコメを実施した上で、施設整備を行っていく。

# 議会報告会のご案内

1月28日に男女共同参画センターで開催しました議会報告会では、12月定例会や平成27年度決算に関する審査概要や議決結果を報告いたしました。

今回の報告会は、下記のとおりです。皆さまのご来場をお待ちしております。

なお、**一時保育**の申し込みは4月14日(金)まで。手話通訳や要約筆記が必要な方は事前にお問い合わせください。

【議事調査課】  
TEL 0797-77-2168  
FAX 0797-7416902

**開催日時** 平成29年4月22日(土)  
午前10時～正午  
(開場：午前9時45分)  
**場所** 東公民館3階  
301・302学習室  
阪急山本駅から南に徒歩5分  
**内容** 3月定例会の報告

## 市議会の情報はインターネット・Facebook・FM放送で

- ◆**インターネット**  
市議会ホームページでは、会議日程や議案審査の結果、本会議の映像(インターネット中継・録画配信)等をご覧いただけます。本会議や委員会の会議録検索もできます。
- ◆**Facebook**  
本会議や委員会の開催日程のほか、議会報告会や意見交換会など市議会主催イベントの情報などをお知らせしています。
- ◆**FM宝塚 83.5MHz**  
毎週2回(月・木)11時55分から5分間、市議会の話題をお届けしています。また、本会議での各議員の一般質問(録音)や議長インタビューなども放送しています。放送予定は、市議会ホームページでご確認ください。

宝塚市議会  で検索

## 請願・陳情の提出方法は

市の行政等について要望や意見があるときは、誰でも市議会に請願や陳情を提出することができます。提出は、年齢や市民であるかを問わず、法人や団体でも可能です。

### ◆提出の手続き

請願や陳情は、議長あてに提出します。書面は日本語で作成し、請願(陳情)の趣旨、項目、提出年月日、提出される方の住所及び氏名を記載、押印し、署名簿があれば添付をして議事事務局へ提出します。法人や団体の場合は、住所・氏名に代わり、その所在地・団体名及び代表者名を記載し、代表者印を押印します。請願は1人以上の紹介議員の署名が必要です。署名のないものは陳情として取り扱います。

### ◆審査の取り扱い

請願の審査は、本会議で所管する委員会に付託して審査します。委員会では、その内容を審査し、妥当であると判断した場合は採択、そうではないと判断した場合は不採択とします。その後、採択される本会議で、委員長は委員会での審査結果を報告し、本会議での最終の可否を議決します。本会議で採択した請願は、市長等関係機関に送付され、議会としてその実現を要望します。

なお、郵送により提出された陳情は、原則として審査の対象とならず、議長への報告にとどめられます。

### ◆提出期限

請願や陳情は、年4回開催される定例会で審査されます。いつでも提出できますが、提出の時期により審査される定例会が異なりますので、詳細はお問い合わせ

陳情の審査は、直接所管する委員会での審査を行い、採択又は不採択等を決定し、その意思を示すにとどめていきます。本会議での報告や議決、市長等関係機関への送付等は行っておりません。詳細は、議事調査課までお問い合わせください。  
TEL 0797-77-2168



## 傍聴にお越しください

宝塚市議会の本会議や委員会は一般に公開されており、どなたでも傍聴いただけます。

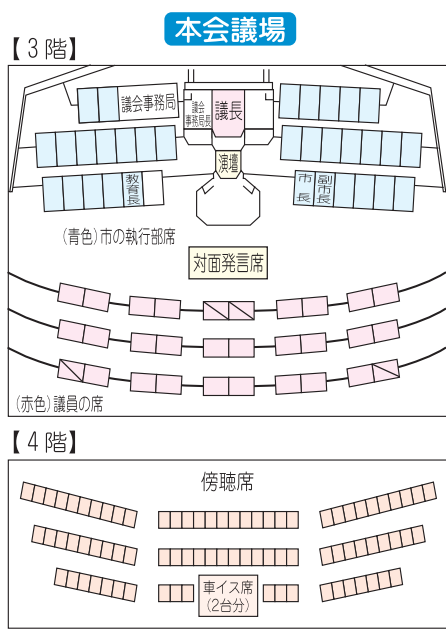
### ■本会議場

本会議の傍聴は、市庁舎4階に傍聴席があります。受付簿に住所、氏名(団体で傍聴される場合は、団体名、代表者の住所・氏名、人数)をご記入いただき、受付箱へ投函の上、傍聴席へお入りください。傍聴席は84席(内、車いす席2席、磁気ループ席26席)あり、介助犬の同伴も可能です。

### ■手話通訳・要約筆記

手話通訳者や要約筆記者の介助を希望される場合は、「宝塚市(手話通訳者・要約筆記者)派遣申込書」を障害福祉課へFAXしていただくか、窓口へ直接お申し出ください。

【障害福祉課】  
TEL 0797-77-2007  
FAX 0797-7218086



第5回

# 意見交換会 を開催

2月5日(日)

◎時間とテーマ

- 第1部 午前10時00分～11時45分 「危機管理について」
- 第2部 午後0時30分～2時15分 「市政のあり方について」
- 第3部 午後2時30分～4時15分 「障がい者施策について」「教育について」

意見交換会をのぞいてみませんか？

当日は、申込不要・入場無料です。直接会場にお越しください。  
手話通訳、要約筆記が必要な方は、事前に下記までご相談ください。

お問い合わせ 議会事務局 議事調査課  
TEL 0797-77-2168 FAX 0797-74-6902  
E-Mail m-takarazuka0178@city.takarazuka.lg.jp

公募した市民発言者と議員がテーマごとに意見交換します。  
※第3部はテーマが2つでしたが、応募がありませんでしたので、1つになりました。



市立西公民館 3階 セミナー室  
宝塚市小林2丁目7-30  
(阪急小森駅から徒歩3分)  
TEL: 0797-77-1200

## 議場コンサート

南里沙

クロマチックハーモニカ  
コンサート

曲目: 「愛燦々」  
「ふるさとの四季」ほか

入場無料

2月21日(火)

午前9時30分～10時

<開場は午前9時>

市議会議場

※申込不要です。  
直接、市議会傍聴席(市役所4階)へお越しください。  
※議場コンサートに引き続き、本会議を開会します。

お問い合わせ  
議会事務局 総務課  
TEL 0797-77-2034



最後までお読みいただきありがとうございます。  
誌面への意見や感想は、議会事務局までお気軽にお寄せください。

宝塚市議会事務局  
〒665-8665  
宝塚市東洋町1番1号  
TEL 0797-77-2168(直通)  
FAX 0797-74-6902

議会報「かけはし」は、すべての世帯と事業所のポストに宅配でお届けしています。  
発行日を過ぎて届かない場合は、下記のフリーダイヤルへご連絡ください。

ジャパンメッセンジャーサービス(株)  
フリーダイヤル  
0120-240-324  
(9時～19時まで)

野鳥の名前の答え

- ①キジ
- ②インヒヨドリ
- ③カワセミ
- ④オシドリ
- ⑤メジロ
- ⑥セグロセキレイ
- ⑦ヤマガラ
- ⑧ルリビタキ
- ⑨ユリカモメ

※かけはしは年4回発行しています。次号は、平成29年5月1日発行予定です。

市民と共に歩む宝塚市議会をめざして更に開かれた議会にしてまいります。(若江)

| 3月       |     |         |    |         |    |             |    |        | 2月  |     |        |     |             |
|----------|-----|---------|----|---------|----|-------------|----|--------|-----|-----|--------|-----|-------------|
| 22日      | 21日 | 17日     | 9日 | 8日      | 7日 | 3日          | 2日 | 1日     | 28日 | 27日 | 24日    | 23日 | 21日         |
| 水        | 火   | 金       | 木  | 水       | 火  | 金           | 木  | 水      | 火   | 月   | 金      | 木   | 火           |
| 本会議(予備日) | 本会議 | 議会運営委員会 |    | 予算特別委員会 |    | 常任委員会②(予備日) |    | 常任委員会② |     |     | 常任委員会① |     | 本会議(提案理由説明) |

3月定例会の日程

編集後記

◆酉年、春、飛躍への願いを込め表紙をトリづくしにしました。広報広聴委員会発足から5年。早々に取り組んだ議会報告会やネット中継も当たり前の時代になりましたが、議会の全容をお伝えできるのは議会報。皆様との「かけはし」として充実をめざします。(寺本)